

「さよなら原発 パレードinあつぎ」に参加

東日本大震災の発生から2年が過ぎました。被災地の復興は遅々として進まず、原発は再稼働してしまいました。

3月11日は全国各地で追悼行事が行われ、10日を中心に原発反対の様々な行動がありました。

厚木でもにぎやかに

3月10日、東日本大震災・福島原発事故2年を前に「さよなら原発 パレードinあつぎ」に参加。さつき公園から中心市街地を通って、本厚木駅北口までパレードしました。ベビーカーの赤ちゃんから、若者や人生の大ベテランなど、幅



最後は本厚木駅前まで「ふるさと」などみんなで合唱

広い市民が参加。パレードでは、沿道の人々に「こいっしょに歩きましょう」とよびかけながら、歌も歌って、脱原発を訴えました。

参加者は、思い思い

のメッセージをボードやプラカードなどに書いていたり、着ぐるみや色鮮やかな帽子を着用したり、鈴やカスタネットなどの鳴り物、風船などもあって、にぎやかなパレードとなりました。党議員団もプラカードを掲げて一緒に歩きました。



脱原発あきらめない

日本の電力の3割は原発と言われていましたが、現在、稼働しているのは福井県の大飯原発2基のみ。それでも電力は充分足りていません。

多くの巨大地震の発生が予測されている日本で、安全神話を振り



思い思いのプラカードを掲げて

東日本大震災・原発事故2周年に寄せて

雪解けや除染を急げ子ども待つ二年目の春は来れど故郷は放射能春は来た田の耕しを思案せり

(署名：佐藤民男さん)

かざし、3・11で過酷事故が起きても「安全だ」と言い続ける国と電力会社のいうことなど、まったく信用できません。

さらに放射性廃棄物(核のゴミ)の処理はできず、稼働すれば人体に被害を与えるごみが増え続けることになるのです。

原発の「即時廃止」、エネルギー政策の転換は国民の安全・安心を守る上で、必要な事です。現政権の無謀さに脱原発を諦めることなく、声を上げていきましょう。

第44回重税反対全国統一行動厚木地区集会開かれる

3月13日(水)厚木中央公園で、第44回重税反対全国統一行動厚木地区集会が開かれ、220人が参加しました。毎年、民主商工会や神奈川土建などが確定申告のこの時期に、集団申告と政府・税務署に向けての要求請願をするために集会を行っています。この日、全国では約600カ所、20万人近くの人々が行動に参加したそうです。

10時に始まり、中小業者、労働者、年金者、青年などの連帯のあいさつに続き、民商婦人部のしゃもじパフォーマンス「消費税中止させる国会を」(写真)。その後、駅前を通り税務署に集団申告と請願活動。「消費税増税は中止を」「大企業・富裕層の減税反対」「TPP参加反対」などシュプレヒコールで道行く人々に訴えました。提出後は中央公園に戻って、昼食交流会が行われました。



「さよなら原発 パレードin あつぎ」へのよびかけ文

福島第一原発の事故から満2年、私たちは原発の危うさと放射能汚染の恐ろしさを思い知りました。

原発に頼らずに安全で再生可能な自然エネルギーに切り替えるときがきています。

子どもたちを放射能の危険のない社会で育てたい・・・子どもたちの未来のために、子どもも若者も、パパ・ママ、おじいちゃん・おばあちゃん、みんなと一緒に歩きましょう。

原発事故のために、故郷を離れざるを得なかった人たちの思いも込めて、「さよなら原発、再稼働反対」の声を大きく広げて行きましょう。